

公益財団法人いばらき文化振興財団

[法人の概要]

令和元年7月1日現在

代表者名	理事長 後藤 四朗（常勤）	県所管部課	県民生活環境部生活文化課	
所在地	水戸市千波町東久保697番地	電話番号	029-305-0161	
ホームページURL	http://icf4717.or.jp/	E-mailアドレス	icf-ga6@icf4717.or.jp	
資本金（基本財産）	30,000	千円	設立年月日	平成4年7月17日
主な出資者	出資順位	出資者名	出資額(千円)	出資比率
	1	茨城県	30,000	100.0%
	2			
	3			
	4			
	5			
その他				
設立目的	<p>各種の文化振興事業を行うことにより、個性豊かな県民文化の振興を図り、もって国際性豊かな文化の県づくりに寄与する。</p> <p>平成11年からは、茨城県文化福祉事業団の文化部門を継承し、文化芸術に接する機会の提供、県民文化センターの管理運営及び大洗水族館の運営を行っている。</p>			

[事業の概要]

(単位：千円)

事業名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	内容
事業1 大洗水族館事業(公2)	1,527,377	1,495,186	1,419,946	大洗水族館については、「茨城の海と自然・世界の海と地球環境」を基本テーマとし、地球の自然と世界の水生生物の生態を通して、生物の多様性や自然環境・地球環境について楽しみながら学ぶという教育と娯楽性を兼ね備えるとともに、「展示」、「普及」、「研究」の3つの機能が相互に連動する魅力ある海の総合ミュージアム施設として運営する。
	全体事業に占める割合 55.1%	55.5%	54.5%	
事業2 大洗水族館売店事業(収2)	660,223	659,561	658,509	地域に貢献する観光拠点施設としての役割を踏まえ、多くの人が来場する大洗水族館の利用者への利便提供のため、物販・飲食部門の運営を行う。
	全体事業に占める割合 23.8%	24.5%	25.3%	
事業3 文化振興事業(公1)	469,766	434,428	419,799	個性豊かな県民文化の振興を目的として、文化芸術活動への助成及び文化芸術に接する機会の提供を行うため幅広いジャンルの公演事業を実施する。また、県の文化芸術振興の拠点施設である県民文化センターの指定管理者として、施設の運営・維持管理・使用承認等を行うとともに、利用者への利便提供等を行う。
	全体事業に占める割合 16.9%	16.1%	16.1%	
その他事業 事業1～3以外	115,765	104,842	107,494	県民文化センター利用者の利便施設としてグリル・売店等の運営を行う。また、県民文化センター及び大洗水族館を効果的・効率的に運営するため、理事会及び評議員会をはじめ、諸会議の開催、財務及び組織の適正な管理等を行う。
	全体事業に占める割合 4.2%	3.9%	4.1%	
全体事業	2,773,131	2,694,017	2,605,748	指定管理者
全体割合	100.0%	100.0%	100.0%	

< 公益財団法人いばらき文化振興財団 から県民のみなさまへ >

いばらき文化振興財団は、各種文化振興事業を行うことで、個性豊かな県民文化の振興を図り、もって国際性豊かな文化の県づくりに寄与することを目的とする公益財団法人です。良質な舞台芸術公演の提供、文化活動団体等への支援、県民の文化活動の拠点施設としての「県民文化センター」の管理運営、茨城の海と自然・世界の海と地球環境を基本テーマとした「大洗水族館」の運営を行い、県民の皆様へ良質な文化をお届けするとともに、魅力ある施設づくりを目指しております。

文化振興事業では、歌舞伎・オペラ等の大型舞台公演をはじめ、県民の皆様の要望に沿って様々な舞台芸術を提供するとともに、児童生徒を対象に音楽や美術等の体験型講座等を行い、本県の芸術文化の振興に努めています。

県民文化センターでは、練習室をはじめ各施設利用状況等の情報を積極的に提供するとともに、指定管理者として、老朽化が進む施設の安全性・利便性の向上を引き続き図り、県民の皆様へ親しまれ愛される施設運営を目指します。

大洗水族館では、新たに中型のサメや大型のカニ、ドクターフィッシュなど、年間を通して触れられるようタッチングプールを全面改修したほか、カナダカワウソ2頭の展示を始めるなど、これまで以上にその魅力を積極的に発信するとともに、スマートフォンを活用した「かざすAI図鑑」サービスを導入するなど、海の総合ミュージアムとしての機能を十分発揮できるよう努めていきます。

今後も、文化振興事業の一層の充実を図るとともに、県民文化センターと大洗水族館が多くの県民の皆様にご利用いただけますよう、施設の安全管理はもとより、積極的な事業展開に努めます。職員一同、皆様のお越しを心からお待ちしております。

令和2年2月 理事長 後藤四朗

[経営状況] 公益財団法人いばらき文化振興財団(単位：千円)

区 分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	増減数	増減理由
正味財産増減計算書	経常収益	2,593,330	2,578,594	2,580,463	1,869	
	基本財産運用益	314	313	313	0	
	事業収益	2,513,359	2,498,269	2,500,366	2,097	
	受取補助金等	61,201	61,627	61,751	124	
	その他収益	18,456	18,385	18,033	△ 352	
	経常費用	2,773,131	2,694,017	2,605,748	△ 88,269	
	事業費	2,762,631	2,682,503	2,593,809	△ 88,694	修繕工事負担金の減
	管理費	10,500	11,514	11,939	425	
	うち役員人件費	15,373	15,542	14,614	△ 928	
	うち職員人件費	769,538	762,832	771,898	9,066	時間外・勤勉手当の増等
	評価損益等	0	0	0	0	
	経常増減額	△ 179,801	△ 115,423	△ 25,285	90,138	
	経常外収益	9,154	16,479	9,684	△ 6,795	助成事業振替額の減
	経常外費用	162	84	633	549	
	経常外増減額	8,992	16,395	9,051	△ 7,344	
法人税・住民税・事業税	2,854	142	910	768		
一般正味財産増減額	△ 173,663	△ 99,170	△ 17,144	82,026		
指定正味財産増減額	△ 9,154	△ 16,479	△ 9,684	6,795		
正味財産期末残高	2,071,350	1,955,701	1,928,873	△ 26,828		
貸借対照表	資産合計	2,989,340	2,794,502	2,774,407	△ 20,095	
	流動資産	602,229	539,942	658,328	118,386	現預金の増
	固定資産	2,387,111	2,254,560	2,116,079	△ 138,481	施設設備修繕等積立資産等の減
	負債合計	917,990	838,802	845,535	6,733	
	流動負債	315,480	245,575	271,539	25,964	年度末仮受金の増
	うち短期借入金	0	0	0	0	
	固定負債	602,510	593,227	573,996	△ 19,231	退職給付引当金の減
うち長期借入金	0	0	0	0		
正味財産合計	2,071,350	1,955,701	1,928,873	△ 26,828		
基本財産充当額	30,000	30,000	30,000	0		
県財政関与状況	補助金	58,825	60,127	60,451	324	
	委託料	246,358	255,192	266,445	11,253	文化プログラム推進事業委託料の増等
	貸付金	0	0	0	0	
	その他(分担金・負担金・出捐金等)	2,000	2,000	2,000	0	
	合 計	307,183	317,319	328,896	11,577	
	財政的関与の割合(%)	11.8%	12.2%	12.7%	0.4	
	損失補償・債務保証契約に係る債務残高(期末)	0	0	0	0	
借入金残高(期末)	0	0	0	0		
合 計	0	0	0	0		

主要経営指標	算式等	平成28年度	平成29年度	平成30年度	増減P	備 考
公益目的事業比率	認定法第15条に定める率	70.1%	71.4%	70.5%	△ 1.0	
管理費比率	管理費／経常費用	0.4%	0.4%	0.5%	0.0	
人件費比率	人件費／経常費用	28.3%	28.9%	30.2%	1.3	
自己収益比率	自己収益額／経常収益	95.4%	95.0%	94.5%	△ 0.4	
流動比率	流動資産／流動負債	190.9%	219.9%	242.4%	22.6	
借入金比率	借入金残高／負債・正味財産合計	0.0%	0.0%	0.0%	0.0	

[組織]

7月1日現在の人数		平成29年		平成30年		令和元年		増減数	増減理由		
		県派遣	県OB	県派遣	県OB	県派遣	県OB				
役員	常勤理事・監事	2	0	2	2	0	2	0			
	非常勤理事・監事	12	1	0	12	1	0	0			
	計	14	1	2	14	1	2	0			
職員	管理職	21	1	0	21	1	0	23	1	0	
	一般職	48	0	0	48	0	0	43	0	0	
	嘱託・臨時職員等	94	△	△	92	△	△	91	△	△	
	計	163	1	0	161	1	0	157	1	0	
当期	プロパー職員平均勤続年数	16.7年	常勤職員(嘱託・臨時職員を除く)の年齢構成						平均年齢		常勤役員平均報酬(年額)
			~20代	30代	40代	50代	60代	合計	40.4 歳	6,138.5 千円	
			17	13	20	15	1	66		プロパー職員平均給与(年額)	
										6,448.8 千円	

[評点集計]

評価の視点	評価項目数	評点	満点	得点率
目的適合性	9	18	20	90%
計画性	8	20	20	100%
組織運営健全性	10	16	20	80%
効率性	11	13	20	65%
財務健全性	9	15	17	88%
合計	47	82	97	85%

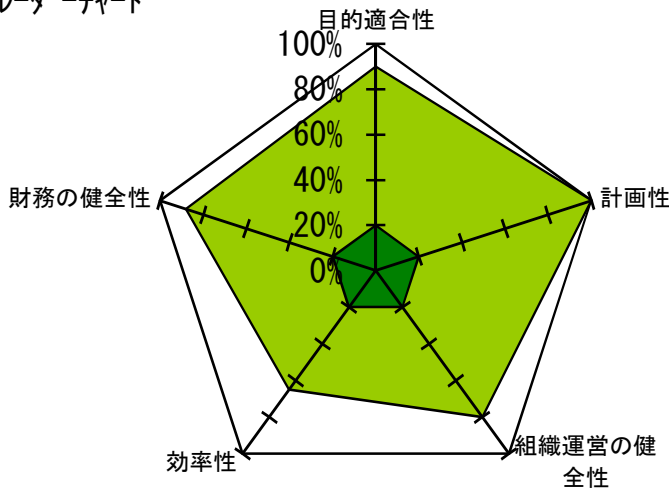
警戒指標

--

《評価の視点》

目的適合性	法人が行っている事業と当初の設立目的が適合しているか
計画性	経営目的、経営方針が各種計画に反映され、計画・実行・見直しが行われているか
組織運営健全性	組織、人事、財務等の内部管理体制が適切に整備・運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切か
効率性	組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているか
財務健全性	法人の財務体質が健全であるか、また、各事業の採算性がとれているか

経営評価
レーダーチャート



[法人の自己評価（経営概況、経営上の課題・対策等）]

目的適合性	計画性	組織運営健全性	効率性	財務健全性
<p>定款の目的に則り、個性豊かな県民文化の振興を図るため、文化振興事業、県民文化センター・大洗水族館の管理運営を行っている。</p> <p>今後も県関係機関と密接な連携のもと、設立目的に沿った事業運営に努める。</p>	<p>第4期中期経営計画を策定し、事業別に目標を掲げている他、毎年度財団全体の事業計画を作成している。</p> <p>事業計画に基づき、マネジメントサイクルを基本に、時代のニーズに沿った事業を効果的・効率的に展開していく。</p>	<p>事業展開を担う職員の専門性を高めるため、階層別及び専門研修等を実施し、人材育成・能力開発等に努めるとともに、専門的知識を有する会計事務所及び社会保険労務士へ委託し、組織運営の健全性の確保に努めている。</p>	<p>広告収入の確保や競争入札等によるコスト削減など、各種事業の財源確保に努めるとともに、組織改編、諸規程の見直し、給与・会計・勤怠管理システムを新規導入し、効率的な事務処理体制を構築した。</p>	<p>大洗水族館の大規模修繕の資金源は、入場料の他、積立資産の取り崩しにより対応しているところである。</p> <p>今後も施設維持のための大規模修繕が必要なことから、入場者のニーズに沿った事業やサービスを提供するなど誘客対策を強力に展開し、財源確保を図っていく。</p>
今後の事業展開の方向	<p>文化振興事業については、多くの方々に興味をもってもらえるよう、公演情報を適確に発信しながら県民の要望に沿った多種多様なジャンルの公演を実施し、入場率及び満足度の向上に努めていく。</p> <p>県民文化センターについては、キャッシュレスに対応したチケット販売等のシステムの導入や、50年以上施設を運営してきた知見を活かし、施設の老朽化も踏まえた今後の長期的な施設修繕計画を県と協議し、安全で快適な施設の整備と適切な管理運営に努めていく。</p> <p>大洗水族館については、更なる魅力度向上のための展示のリニューアルをはじめ、新たなサービスの提供、魅力を最大に発信するための広報の見直しなどで誘客促進対策に全力で取り組んでいく。</p>			

〔法人担当課の意見〕

目的適合性	計画性	組織運営健全性	効率性	財務健全性
自主的で個性的な文化活動団体等への助成をはじめ、文化芸術に接する機会の提供、水族館による「展示・普及・研究」の3つの機能の提供など、本県の文化振興に寄与する事業を推進している。	県民文化センターの指定管理期間に合わせた中期経営計画を策定し、効率的な経営や自主財源の確保、計画的な施設整備等による利用者の利便性の向上を図り、公益財団法人として健全で責任ある経営に努めている。	役職に応じた専門研修等を実施しているほか、「働き方改革」関連法の順次適用開始に伴い、法改正に対応し、労務管理等が遂行されるよう規定を改正する等、適正に運営されている。	県民文化センターの売店等において、利用者のニーズに応じて営業時間を変更する等、経費節減に努めた。引き続き、経費の節減及び職員の適性配置等に努めるよう指導していく。	大洗水族館の入館者数は8月の猛暑等の影響でやや落ち込んだが、県民文化センターの利用者数は昨年度を上回った。引き続き収入確保や経費節減など、効率的な運営に努めるよう指導していく。
<p>法人担当課の意見</p> <p>大洗水族館については、展示生物の新規開拓やテレビ等メディアへの積極的な情報発信により入館者数の確保に努めている。また、県民文化センターについても、多くの利用者へ質の高い文化芸術に接する機会を提供するなど、県民文化の振興に努めたことは評価できる。</p> <p>水族館の入館者数及び文化センターの利用者数については、引き続き、一層の誘客促進やサービスの向上に努め、入館者数等の確保に取り組むとともに、効率的な運営を図り健全な運営が維持されるよう指導していく。</p>				

〔経営目標〕

区分	指標名	単位	H28実績	H29実績	H30目標値	H30実績	達成度(%)	R1目標値	
経営目標	事業成果	1 県民文化センター施設全体の利用率	%	79.7	79.6	83.0	73.6	88.7%	83.0
		2 水族館の入場者	千人	1,134	1,129	1,144	1,120	97.9%	1,150
	健全性	1 流動比率	%	191	220	218	242	100.0%	218
		2 自己資本比率	%	69	70	72	69.5	96.5%	72
	効率性	1 職員1人あたりの事業収入	千人	12,188	13,175	12,900	13,238	100.0%	13,000
		2							
平均目標達成度							96.6%		

〔総合評価〕

取組みを強化すべき視点	目的適合性	計画性	組織運営健全性	効率性	財務健全性
総合的所見等	<p>概ね良好 改善の余地あり 改善措置が必要 大いに改善を要する</p>				
	<p>平成30年度は、水族館事業における修繕工事負担金の減少により、当期経常増減額は前期差90、138千円増の△25、285千円となった。</p> <p>県民文化センターの利用者数は610千人（前期差12千人増）と増加したものの、大洗水族館の入場者数は、112万人（前期差9千人減）と減少が続いていることから、大洗水族館については、さらに他の水族館の経営を分析し、新たなノウハウを導入するなど、入場者数の増加に努められたい。県民文化センターについては、文化センター友の会の会員などの理解者を増やし、県民文化の振興に努められたい。</p> <p>また、赤字が続く収益事業の文化センターのグリルが、令和元年12月末までの運営となったが、その他の収益事業の実施にあたっては、収支管理に努められたい。</p> <p>修繕工事の負担金については、特定資産の取崩等で対応しているが、特定資産の減少が続いていることから、中長期的な財源確保について検討されたい。</p> <p>（ 県所管課は、当該法人が指定管理等を受託し、安定的な財務運営が図られていることから、県派遣職員の削減の検討や、運営費補助金の縮減等に積極的に取り組まれたい。 ）</p>				
総合的所見等に係る対応	<p>水族館では魅力アップのためのリニューアルや効果的な誘客促進策の展開などにより入場者数の確保に努めるよう指導する。</p> <p>また、県民文化センターでは各種チケットの割引制度の充実などにより友の会会員等の増加を図るとともに、収益事業においては、経費節減などによる一層の収支改善を行うよう指導する。</p> <p>修繕工事の負担金については、特定資産の取崩等を縮減するため、入場者数の増加を図るなど、財源確保に努めるよう指導していく。</p> <p>また、職員派遣の削減や運営費補助金の縮減については、財団が県の文化行政の一躍を担う役割を果たしていることを踏まえ、適切に取り組んでいく。</p>				